

こうえい
冬

2014

根を張る

拡大

成長

確立



表紙について

これからも「誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する」の経営理念のもと、それぞれの地域の人々が必要とする社会資本の整備に貢献することにより、国際社会から尊敬と高い評価の得られる企業へと成長してまいります。

02 株主の皆さまへ

03 2014年6月期 第1四半期 連結決算ハイライト

04 "Challenge" Diary

世界をつなげ！～日本工営グループの鉄道コンサルティング事業～

07 News Gallery

- ・栃木県寺山ダムで全国初のダムESCO事業を開始
- ・当社社員がブラジル国サン・フェリックス市の名誉市民に
- ・CSRレポート2013を発行

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新しい年がスタートし、当期および中期経営計画の目標達成に向け、経営陣、従業員一同、決意を新たにいたしましたところ です。

さて、昨年は当社にとって大変喜ばしい出来事がありました。

それは、スペインのバルセロナで開かれた国際コンサルティング・エンジニア連盟 FIDIC の 100 周年記念大会において、創業者である故久保田豊が大賞を受賞するという栄誉に輝いたことです。この賞は、過去 100 年間で最も優れた建築物、土木構造物、コンサルタント企業あるいは個人を選び表彰するという大変名誉なもので、個人賞を受賞したのは久保田氏と英国のコンサルタント ARUP 社の創業者 ARUP 氏の二人だけでした。

これから当社グループは社の持続的発展に向け、地域的にも、業容としても事業の拡大を図ってまいります。創業者の残した揺るぎない経営理念のもと、それぞれの地域の人々が必要とする社会資本の整備に貢献することにより、国際社会から尊敬と高い評価の得られる企業へと成長してまいります。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援とご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年1月
取締役社長

廣瀬典昭



2014年6月期 第1四半期 連結決算ハイライト

2014年6月期第1四半期(2013年7月～9月)の日本工営グループの業績は、売上高7,563百万円で、通期予想の75,000百万円に対して10.1%の達成率となり、営業利益段階で損失を計上しました。

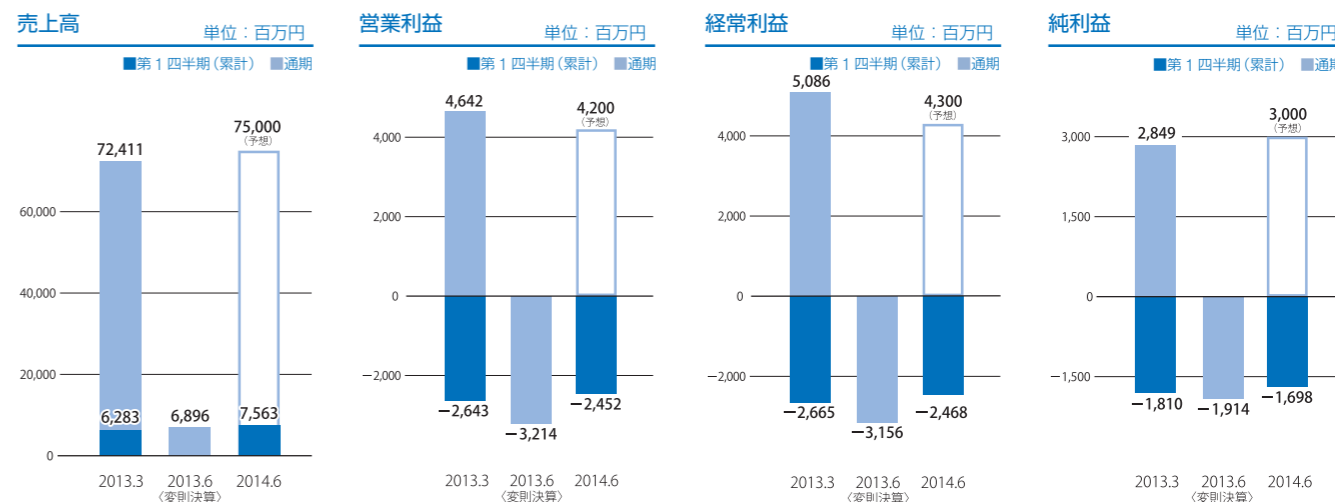
当社グループの事業は、受注の多くが官公庁および

電力会社からのもので、納期が年度末(3月)に集中するという特徴があります。このため売上高の計上が特に1月～3月に集中する一方、費用は年間を通じて発生するため、例年、4月～12月に対応する四半期決算では損失を計上しています。

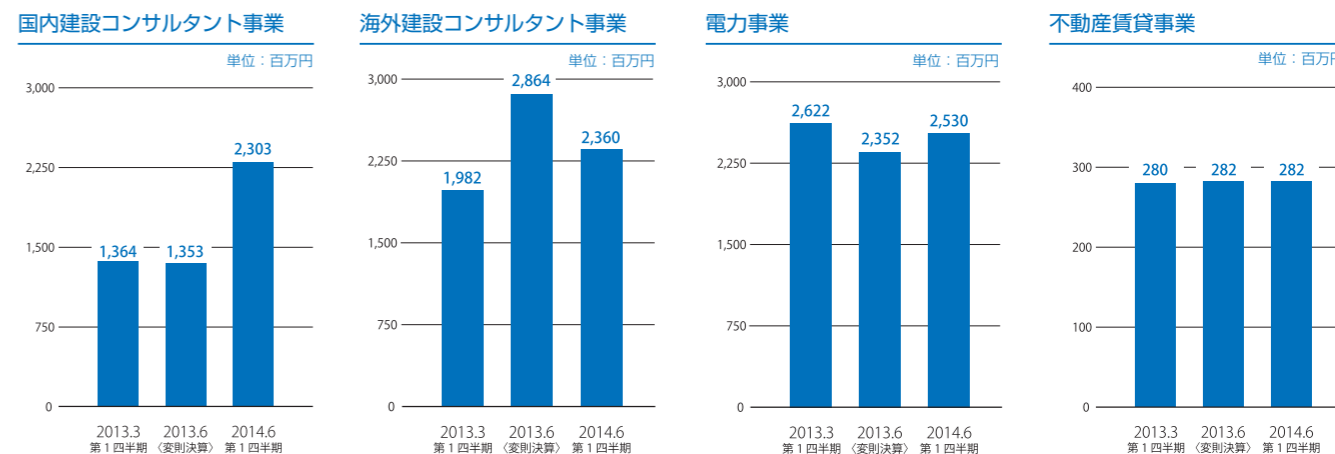
	2014年6月期第1四半期 (2013.7～2013.9)	(参考)	
		2013年3月期第1四半期 (2012.4～2012.6)	2013年6月期(変則決算) (2013.4～2013.6)
売上高(百万円)	7,563	6,283	6,896
営業利益(百万円)	-2,452	-2,643	-3,214
経常利益(百万円)	-2,468	-2,665	-3,156
当期純利益(百万円)	-1,698	-1,810	-1,914

※数値は四捨五入・切り捨て処理などの関係で、合計が合わない場合があります。

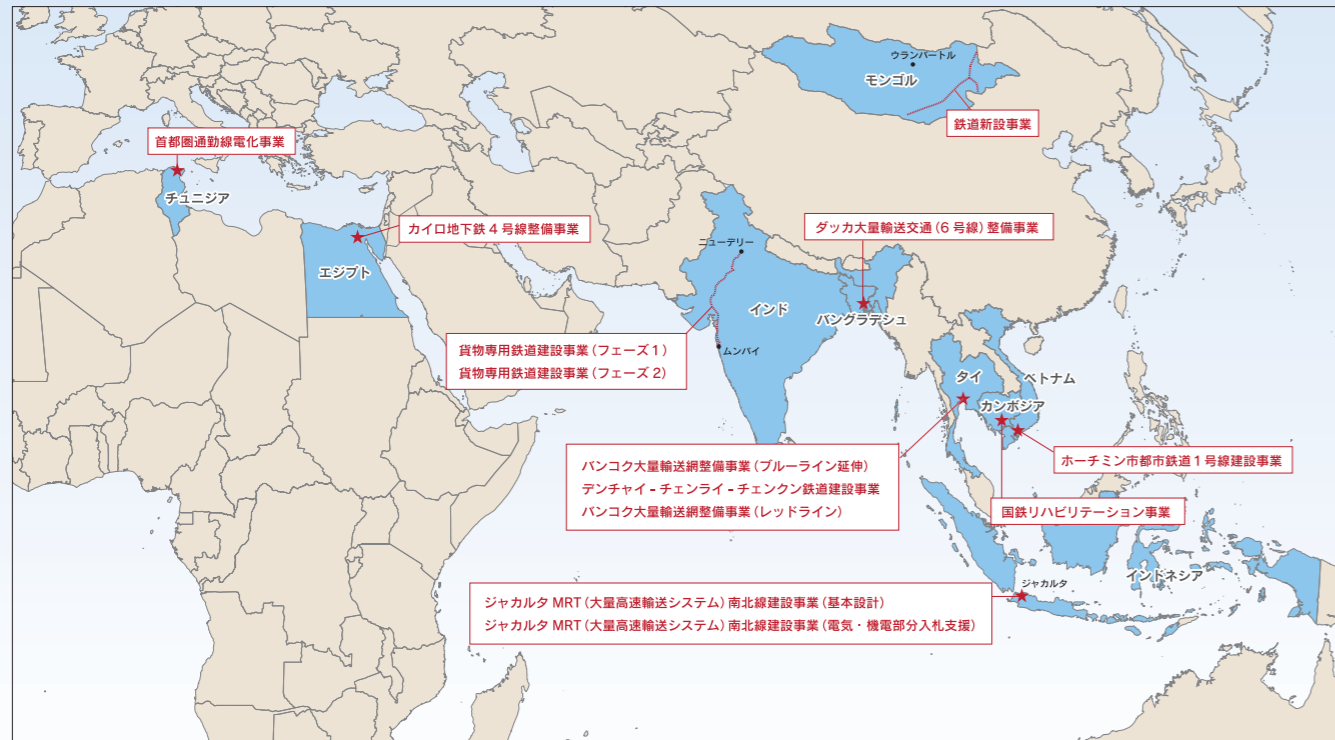
決算期変更により、2013年3月期の第1四半期および2013年6月期は4月～6月、2014年6月期の第1四半期は7月～9月を示します。



事業別売上高



世界をつなげ！～日本工営グループの鉄道コンサルティング事業～



日本工営が手掛ける鉄道事業 (エンジニアリングサービスのみ、調査業務は除く)

近年世界の鉄道ビジネスは大きな脚光を浴びています。

鉄道は CO₂ 削減と持続的経済活動を両立させるためのインフラです。1 トンの荷物を 1km 運ぶ際の CO₂ 排出量 (CO₂ 排出原単位) は、自家用トラックの 960g-CO₂/ トンキロに比べ、鉄道は 21g-CO₂/ トンキロとわずか 2% あまりです。また、新興国の都市人口は爆発的に増加しており、排気ガスによる大気汚染や慢性的な渋滞の解消、その一方で物流ニーズへの対応が迫られており、鉄道に注目が集まっています。

日本工営は 1990 年代後半から鉄道事業への本格的な挑戦を始めました。



新興国における慢性的な交通渋滞

2001 年 10 月に部員 7 名で設立された鉄道技術部は実績を重ねるとともに規模を拡大し、2011 年 7 月に鉄道事業部へと昇格、現在では海外事業における主要分野にまで成長しました。



ホーチミン市都市鉄道 1 号線計画図

2013 年までに地下鉄も含め、約 4,200km、およそアメリカ横断 (ロサンゼルス～ニューヨーク) に相当する距離のエンジニアリングサービスを提供してきました。

都市鉄道分野の最初の大型案件は 2008 年に共同企業体 (JV) リーダーとして受注したベトナム国ホーチミン市都市鉄道 1 号線建設事業でした。ホーチミン市は約 800 万人の人口を抱えるベトナム最大の都市であり、深刻な渋滞の緩和、大気汚染改善のため、都市鉄道の建設は最重要案件の一つとなっています。ホーチミン市では 2020 年までに 6 路線の建設が計画されていますが、当社はその第 1 号線のコンサルティング業務を実施し



オペラハウス地下駅完成予定図

ています。ホーチミン市中心部の Ben Thanh (ベントイン) から観光名所でもあるオペラハウスを経て市北東部に位置する Suoi Tien (スオイティエン) に延びる総延長 19.7km (地下鉄および高架鉄道) の路線で、現在は建設工事段階にあり、当社は施工監理を行っています。

エジプトのカイロ都市圏でもバスや鉄道など公共交通の輸送能力が限界に達しています。用地不足によって道路網の拡大も困難な状況にあるため、地下鉄の整備が進められています。ナイル川の下にトンネルを掘って地下鉄を通す計画ですが、それ以外にも地下に張り巡らされた水道管網や電線網への配慮、さらに古代・中世の遺跡に遭遇する可能性を踏まえたプランが必要でした。狭い場所での施工を可能とする工法を提案し、設計業務を受注しました。本路線が完成すれば、ピラミッド公園駅やエジプト大博物館駅が出来、地元の人々のみならず世界中からの観光客も利用する路線となります。



カイロ地下鉄 4 号線整備計画図

また、都市鉄道だけでなく、長距離鉄道も手掛けています。

インド貨物専用鉄道建設計画は総延長 2,800km にわたる巨大プロジェクトです。当社は東西回廊全区間の事業化可能性調査を実施し、

現在、首都デリーと重要な国際港を持つインド最大の都市ムンバイを結ぶ約 1,350km の西回廊の基本設計を行っています。

モンゴルでも、石炭埋蔵量が世界最大級と言われるタバントルゴイ炭田で産出される石炭を輸送するための総計 1,600km に及び貨物鉄道建設プロジェクトに係る設計業務を実施中です。本プロジェクトの様子は本年 1 月 12 日に NHK 総合「海外ネットワーク」でも放映されました。

鉄道プロジェクトは実施期間が長く、計画段階から完成まで最低 20 年かかるとも言われ、専門分野が多岐にわたり、土木技術だけでなく、電気・通信技術など多くの専門家を必要とします。また、日本と同様に鉄道路線が造られれば駅前や地下街の開発、沿線の開発ニーズが生まれてきます。

日本工営の総合力と海外で長年培ってきた経験に加え、地下トンネルに強い日本シビックコンサ

ルタント、まちづくりに強い玉野総合コンサルタント、多くの鉄道専門家を擁する NIPPON KOEI INDIA や中南米で鉄道事業を推進する中南米工営などの現地法人とグループシナジーを発揮することにより、今後も鉄道事業を積極的に展開し、受注拡大を目指していきます。



インド貨物専用鉄道建設計画図

日本工営が手掛ける鉄道事業（エンジニアリングサービスのみ、調査業務は除く）

No.	国名	種別	プロジェクト名	距離 (km)	開始年	履行期限
1	チュニジア	都市鉄道	首都圏通勤線電化事業	23	2003	2012
2	ベトナム	都市鉄道	ホーチミン市都市鉄道 1 号線建設事業	19.7	2008	2019
3	カンボジア	長距離鉄道	国鉄リハビリテーション事業	639	2008	2014
4	インドネシア	都市鉄道	ジャカルタ MRT (大量高速輸送システム) 南北線建設事業 (基本設計)	15	2009	2011
5	インド	長距離鉄道	貨物専用鉄道建設事業 (フェーズ 1)	920	2010	2014
6	インド	長距離鉄道	貨物専用鉄道建設事業 (フェーズ 2)	555	2010	2014
7	タイ	都市鉄道	バンコク大量輸送網整備事業 (ブルーライン延伸)	27	2010	2016
8	タイ	長距離鉄道	デンチャイ-チェンライ-チェンクン鉄道建設事業	323	2011	2012
9	エジプト	都市鉄道	カイロ地下鉄 4 号線整備事業	17.2	2012	2014
10	インドネシア	都市鉄道	ジャカルタ MRT (大量高速輸送システム) 南北線建設事業 (電気・機電部分入札支援)	No.4 と同じ	2013	2014
11	モンゴル	長距離鉄道	鉄道新設事業	1,600	2013	2014
12	タイ	都市鉄道	バンコク大量輸送網整備事業 (レッドライン)	26	2013	2017
13	バングラデシュ	都市鉄道	ダッカ大量輸送交通 (6 号線) 整備事業	20.1	2013	2023
(合計)				4,185		

■ 都市鉄道 ■ 長距離鉄道

栃木県寺山ダムで全国初のダム ESCO 事業を開始

9 月 11 日、栃木県寺山ダム (矢板市) においてダム ESCO (エネルギー・サービス・カンパニー) 事業の運転開始式が執り行われました。

本事業で当社は、ダムから放流される水を活用する水力発電設備 (最大出力 190kW) を建設し、固定買取制度で売電収入を得ます。ダム管理施設の電気料金を当社が負担し、設備の維持管理費を除いた残りが当社の利益となります。県は電気料金の負担がゼロになるほか、安定的な電力供給、CO₂ 排出量の低減が期待され、県と当社双方にとってメリットの

ある事業となります。

当社は、発電可能地点の選定から調査、設計、施工、水車・発電機の製作、発電設備の据え付け工事を行い、水力発電に関するすべての工程を実施しました。運転開始後は、自社で開発したモニタリングシステムを活用して遠隔地から発電状況を監視するなど、水力発電に関するトータルソリューションを提供しています。

今後は、栃木県の塩原ダムや福島県の四時ダムでも同様の事業を手がける予定です。

当社社員がブラジル国サン・フェリックス市の名誉市民に

コンサルタント海外事業本部環境技術部の浅野剛史が、ブラジル国サン・フェリックス市から名誉市民の称号を授与されました。生物多様性の宝庫といわれるブラジルのサバンナ地帯「セラード」ですが、大規模な灌漑整備と土壌改良などの農地開発によって、喪失の危機が指摘されていました。浅野はセラードの自然を保全する仕組みをつくるべく、JICA 技術協力「ジャラポン地域生態系コリドープロジェクト」に従事し、州で初となる市立保護区を設立するとともに、公園管理計画の承認までを支援しました。

ブラジルでは連邦や州立の保護区が一般的で、市立保護区の正式な設立までには多くの資金と労力が必要です。プロジェクトでは、河畔林などを中心にエリ

アをしぼることにより、最小の資金と労力で保護区を設立することに成功しました。市立保護区は自治体のオーナーシップを高め、地域が主体となった管理が期待されます。

一連の業務を通じた功績が広く認められ、今回の名誉市民授与となりました。



名誉市民授与式
市長、市議会議員と共に

CSR レポート 2013 を発行

当社グループの CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) に関する考え方や取り組みについて報告する「日本工営グループ CSR レポート 2013」を発行しました。CSR レポート 2013 では、「再生可能エネルギーへの取り組み」「復興支援へ

の継続した取り組み」「開発途上国の持続的発展を支援する取り組み」についての特集を組んでおります。当社グループは、人々がいきいきと暮らすことができる社会の実現を目指し、今後も企業としての特徴を生かし、さまざまな CSR 活動を行ってまいります。

誠意をもってことにあたり、
技術を軸に社会に貢献する。